

2017年1月～2月のJ-stageアクセスランキング上位20位の論文情報

(対象論文：44巻1号～51巻5号に掲載された総説、原著、速報、技術調査報告、ノート、資料が対象)
 (同一IPアドレスからの複数アクセスは1回とカウントしています。巡回ロボットによるアクセスは除外しています。)

順位	アクセス数	論文種別	タイトル	主著者	巻	頁
1	202	技術調査報告	PM2.5の酸分解/誘導結合プラズマ質量分析法によるケイ素を含む30%	辻本浩子	50	192
2	78	原著論文	九州北部における春季の高濃度PM2.5と長距離輸送	兼保直樹	45	227
3	64	ノート	屋久島および霧島における無機イオン成分の針葉への乾性沈着	三宅隆之	48	92
4	48	総説	PM2.5の実態解明に向けて	伏見暁洋	46	84
5	44	総説	大気中微小粒子状物質の長期曝露が死亡に及ぼす影響—疫学研究にお	上田佳代	51	245
6	35	総説	気象/大気質モデルの開発とその応用に関する研究	近藤明	51	77
6	35	原著論文	大気エアロゾル中のイオン成分および無機元素成分の粒径別高時間分解	辻昭博	48	82
8	33	原著論文	緩和渦集積法を用いたPM2.5フラックス観測による東京郊外の森林にお	本庄孝明	51	257
8	33	原著論文	トレーサー法を用いたわが国の硫酸塩濃度に対する国内外の発生源寄与	板橋秀一	50	138
8	33	原著論文	優先取組物質の見直しに対応した大気中クロム分析法の開発	奥田知明	48	268
11	32	原著論文	日本で捕集した典型的な黄砂エアロゾルの化学組成	西川雅高	51	218
12	31	総説	PM2.5に関する海外動向と測定・モニタリング・成分分析に関する今後	若松伸司	46	77
13	29	原著論文	2010年度を対象としたトレーサー法によるわが国の微小粒子状物質 (I	板橋秀一	51	197
14	27	原著論文	2000～2013年の日本における大気中ベンゾ[a]ピレン濃度の経年変動	猪股弥生	51	111
14	27	技術調査報告	2013年11月4日に東日本として初めて注意喚起が実施された千葉県の	市川有二郎	50	152
16	26	総説	植物に対するオゾン、酸性降下物およびエアロゾルの影響に関する研究	伊豆田猛	51	85
17	24	原著論文	九州北部で2014年5月下旬から1週間継続した黄砂と高濃度大気汚染現	鶴野伊津志	51	44
18	23	原著論文	東京都心部における大気エアロゾル中水溶性フミン様物質の動態と起源	山之越恵理	49	43
19	21	原著論文	希土類元素 (レアアース) に着目した中国大都市と首都圏のPM2.5の元	米持真一	51	33
19	21	技術調査報告	ライダー観測によるダストの推定と地上観測によるエアロゾル質量濃度	兼保直樹	47	285
19	21	原著論文	誘導体化-加熱脱着GC/MS法によるPM2.5中の極性及び非極性有機成分	上野広行	47	241